



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校

学校だより 12月号

平成30年11月30日発行

発行責任者：野田 豊

作品展に寄せて

副校長 青木千恵

12月7日（金）、8日（土）には、作品展が予定されています。作品作りの様子を見ていると表現したいもの、表現したいことを考え、材料を選び、色を考え、形や飾りを工夫している様子があります。なぜ、その色に決め、その材料を選び、形や配置を工夫したのかは、その子のもつ感性によるものです。作品づくりに没頭する姿は、生き生きとしており、光っています。



「全校児童共同作品」

感性は感覚であり、心で受け取るものです。図画工作は、児童一人一人が心と体を存分にはたらかせて、表現を試みながら、夢やおもいを色や形にあらわしていく学習だと考えます。その課程において、他者の見方や考え方、表現したことを受け止めながら、自分らしい表現を求めていく主体的な学びが展開されます。こうした学習の積み重ねにより、自他の表現、様々な感じ方やものの見方を認め合い、視野を広げていくのです。小学校図画工作において感性をはぐくむことは、豊かな人間性や、社会性をはぐくむことにもつながっていくものと考えます。



どの作品も、それぞれにおもいが込められ完成に至りました。この作品展は、子供たちの感性が輝く、子供たちの「今」を感じることができる空間となっています。ですから、鑑賞では、子供たち一人一人が作品を見る楽しさを広げるよい機会にしてほしいと願っています。ぜひ、鑑賞日にはたくさんの方々にご来校いただき、様々な作品のよさや美しさに触れ、「いいな。

素敵だな。」と感じたことを子供たちと分かち合うひとときをお過ごしただけなら、幸いです。

皆様のご来校、お待ちしております。

